



36:17 しかし、あなたには悪者の受けるさばきが満ちている。それでさばきと公義があなたをつかまえる。

36:18 だから、あなたは憤って、懲らしめに誘い込まれないようにせよ。身代金が多いからといって、あなたはそれに惑わされないようにせよ。

36:19 あなたの叫びが並べたてられても、力の限りは尽くされても、それが役に立つだろうか。

36:20 国々の民が取り去られる夜をあえぎ求めてはならない。

36:21 悪に向かわないように注意せよ。あなたは悩みよりも、これを選んだのだから。

36:22 見よ。神は力にすぐれておられる。神のような教師が、だれかいようか。

36:23 だれが、神にその道を指図したのか。だれが、「あなたは不正をした。」と言ったのか。

36:24 人々がほめ歌った神のみわざを覚えて賛美せよ。

36:25 すべての人がこれを見、人が遠くからこれをながめる。

36:26 見よ。神はいと高く、私たちには知ることができない。その年の数も測り知ることができない。

36:27 神は水のしずくを引き上げ、それが神の霧となって雨をしたたらせる。

36:28 雨雲がこれを降らせ、人の上に豊かに注ぐ。

36:29 いったい、だれが雲の広がりど、その幕屋のとどろきを悟りえよう。

36:30 見よ。神はご自分の光をその上にまき散らしました、海の底をおおう。

36:31 神はこれらによって民をさばき、食物を豊かに与える。

36:32 神はいなずまを両手に包み、これに命じて的を打たせる。

36:33 その雷鳴は、神について告げ、家畜もまた、その起こることを告げる。

エリフはヨブが悪者であると決めつけて忠告を続けます。もしも私たちが「すべて正しいことを言う人でなければ、意見を聞くに値しない」と考えるなら、その人の正しい意見までも否定してしまうこととなります。エリフも正しいことを言っているのです。

「(自分は正しいと) 憤って(法廷論争に持ち込もうとすると、結局罪があるのだから) 懲らしめに誘い込まれ」てしまう。これも正しいのです。「神はいと高く…」ということも。

自分が部分的に正しいからといって人をさばくことはやめましょう。また自分を非難する人からさえ、謙遜に聞きましょう。そしてここにあるような神の真理に生きましょう。

①神のみこころは？(信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど)

②どんな思いになりましたか？(感情や願いなど)

③生き方にどう適用しますか？(あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか)

④この世にあって何を実践しますか？

